

2024年9月25日

国連世界観光機関（UN Tourism）

世界観光指標（World Tourism Barometer）

2024年9月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

国際観光客到着数は2024年7月までに新型コロナウイルス前の水準の96%まで到達した

2024年9月21日

マドリッド

2024年の最初の7か月の国際観光客到着数は、力強いヨーロッパの需要及びアジア・太平洋の市場再開によって牽引され、パンデミック前の水準の96%まで回復した。

最新の国連世界観光機関(UN Tourism)世界観光指標によると、2024年の最初の7か月間で国際観光客到着数は、約7億9,000万人となり、2023年より約11%多く、2019年より僅かに4%少なかった。国際観光客到着数のデータによると、年初は好調で、第2四半期は緩やかであった。この結果は、経済的、地政学的な課題が継続しているにもかかわらず、2024年の国際観光客到着数が完全に回復するというUN Tourismの予測に沿ったものである。

UN Tourism グループ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「国際観光は、観光セクター史上最大の危機から完全な回復を遂げようとしています。様々な経済的、地政学的な課題にもかかわらず、回復が持続していることは、旺盛な国際観光需要に加え、航空路線の拡大やビザ規制の緩和が有効であることを明確に示しています。この回復は、また、莫大な社会経済的な利益と包摂的で持続可能な政策が両立するように、地域コミュニティへの影響に対応するための観光計画と管理の必要性が高まっていることを強調しています」と述べた。

中東は引き続き回復を牽引

データは、航空路線の拡大とビザの簡素化が国際観光の回復を支えており、これまでのところ、全地域にとって力強い年となっていることを裏付けている。

- ・ 中東は相対的に最も力強い成長を維持し、2024年の最初の7か月間の国際観光客到着数は2019年の水準を26%上回った。
- ・ アフリカの国際観光客到着数は2019年の同期間より7%増加した。
- ・ ヨーロッパと米州の国際観光客到着数は、最初の7か月間でパンデミック前の水準をそれぞれ99%、97%まで回復した。
- ・ アジア・太平洋の国際観光客到着数はパンデミック前の82%（2019年比-18%）となり、6月に85%、7月には86%まで到達した。

月次または四半期ごとに報告されているデータによれば、世界の120の国・地域の内、67の国・地域が2024年上半期(1月～6月)に2019年の到着数まで回復した。2024年1月～7月に最も好調だったのは、到着数が2倍以上となったカタール（対2019年比+147%増）、アルバニア（+93%）、エルサルバドル（+81%）、サウジアラビア（+73%）、モルドバ共和国（6月まで+50%）、タンザニア（6月まで+49%）であった。

国際観光収入と国際観光支出のデータは、さらに力強い結果を示した

国際観光収入は、入手可能なデータの 63 か国中 47 か国が 2024 年の最初の 6 か月間にパンデミック前の数値まで回復し、その多くが 2019 年比で 2 桁の大幅な伸びを記録した（現地通貨額及び現行価格）。2024 年 6 月又は 7 月までに最も好調だったのは、観光収入が 2 倍以上（2019 年同期比）になったアルバニア（+128%）とセルビア（+126%）で、タジキスタン（+85%）、パキスタン（+76%）、モンテネグロ（+70%）、北マケドニア（+60%）、ポルトガル（+57%）が続いた。トルコ（+55%）とコロンビア（+54%）も力強い結果となった。第 1 四半期のデータで注目すべきは、2019 年第 1 四半期比で著しい成長を遂げたサウジアラビア（+207%）とエルサルバドル（+168%）である。

国際観光支出に関するデータには、2024 年 1 月～7 月までの力強いアウトバウンド需要が表れており、特に米国（+32%増）、ドイツ（+38%）、英国（3 月まで+40%）といった主要な送客市場（ソースマーケット）が 2019 年同期比で堅調な結果となった。オーストラリア（+34%）、カナダ（+28%）、イタリア（+26%）も 2024 年 6 月まで好調なアウトバウンド消費を記録した。限定的なデータではあるが、インドのアウトバウンド消費は 2024 年第 1 四半期（対 2019 年第 1 四半期）に 86%増となり著しく成長した。

2023 年の修正されたデータによると、国際観光による輸出収入は 1.8 兆米ドル（国際観光収入と旅客輸送を含む）に達し、事実上パンデミック前の水準と同等となった（2019 年比で**実質ベース**-1%）。観光直接 GDP は 2023 年にパンデミック前の水準に回復し、推定 3.4 兆米ドルに達した。これは世界の GDP の 3%に相当する。2019 年には観光セクターは世界の GDP の 4%に直接的に貢献していた。

課題は残るものの、2024 年は明るい見通しで終える見込み

UN Tourism 信頼指数は、2024 年 9 月～12 月の見通しが 120 ポイントとなり、5 月～8 月の 130 ポイント（スコア：0～200 点、100 は期待される実績と同等）を下回ったものの、今年の終盤は明るい見通しであることを示している。信頼指数調査に参加した観光専門家の約 47%が、2024 年最後の 4 か月間の観光セクターの実績上昇を予想

しており、41%が同程度、11%が悪化を予想している。これは、好調だった2023年以降、観光セクターの実績が徐々に平常化していることを表している。

専門家は、観光セクターが現在直面している主な課題として、世界的な輸送費や宿泊費の高騰といった旅行・観光におけるインフレに加えて、世界的な経済状況、人材不足、異常気象を指摘した。

○UN Tourism World Tourism Barometer (UN Tourism 世界観光指標「バロメーター」)とは

UN Tourism 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UN Tourism 本部から、年4回を目処に公表されます。UN Tourism 駐日事務所では本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UN Tourism) について

UN Tourism は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関 (UN Tourism) 駐日事務所は、UN Tourism の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

[UN Tourism 世界観光指標 2024年9月号 \(抄録\)](#)



UN Tourism 世界観光指標



ツーリズムデータダッシュボード



- お問い合わせ先(UN Tourism 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org 電話: +34-91-567-8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問い合わせください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は UN Tourism 駐日事務所まで
ご連絡をください。

- 一般のお問合せ先

国連世界観光機関 (UN Tourism) 駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当 : 吉田

電話 : 0742-30-3881

E-mail: info@unwto-ap.org